

地域の活性化、およびスポーツの振興をたたえる

第45回日野町表彰式

町の発展に大きく貢献された皆さんを表彰する、第45回日野町表彰式が、11月10日、役場庁舎で行われました。

今回受賞されたのは、地域活性化功労では、企業組合日野町農産物加工所「大夢多夢」(松本郁子代表理事)の1団体。体育功労で松本美紀さん(高尾)と小谷真由さん(津地)の2人。

表彰式では、景山町長から表彰状と記念品が贈られました。受賞者を代表して、大夢多夢の松本さんが「地域の皆さんに支えられ、頑張ってきた。これからも地域の交流の場として頑張っていきたい」と、受賞の喜びを述べました。



出席者全員で記念撮影。受賞者はさらなる活躍を誓いました



《地域活性化功労》

企業組合日野町農産物加工所「大夢多夢」代表理事

まつもといくこ
松本郁子さん(本郷)

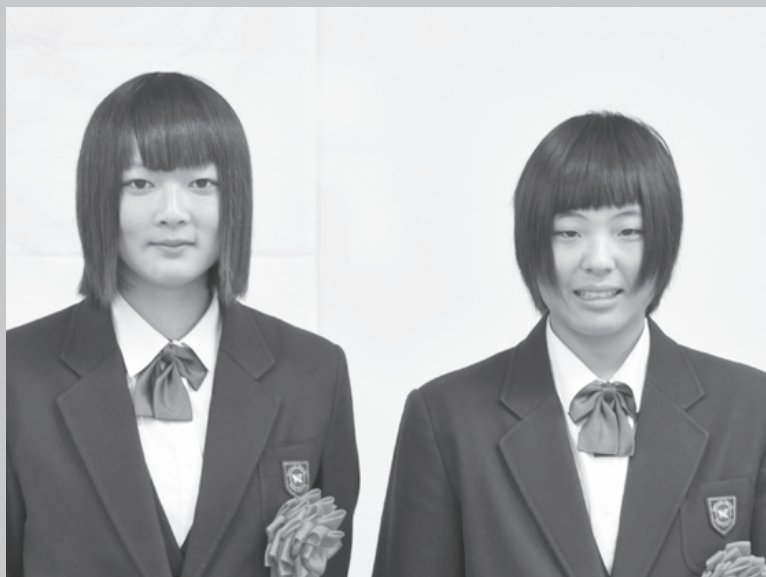
平成16年に日野町農産物加工所「大夢多夢」が誕生し、JA女性会の会員により農産物の加工販売活動が始まりました。名称の「大夢多夢」には、女性たちの大きな夢と多くの夢を実現したいという思いが込められています。

平成21年6月に、JA女性会員の有志で企業組合に組織が再編されて現在に至ります。特に、絶滅寸前といわれた幻の鈴原糯にこだわり、鈴原糯の特長を生かしたもちやおこわの製造販売を行っています。

鈴原糯は、今では町の特産品として認知され、町民は元より多くの人々に愛されているところであり、その取り組みは地域活性化に大いに寄与されました。

平成26年2月1日、「第32回鳥取県高校ソフトテニスインドア選手権大会」で、ペア優勝をおさめ全国大会への出場権を獲得。6月18日～22日に、北海道札幌市で開催された「第43回ゴーセン杯争奪ハイスクールジャパンカップソフトテニス2014」において、女子ダブルスに出場し、予選リーグを順調に勝ち進み、山陰勢として見事初優勝を果たしました。

この快挙は、2人が在学している米子松蔭高校やソフトテニス関係者のみならず、町民や鳥取県民にも感動と希望を与えました。



《体育功労》

こだにまゆ
小谷真由さん
(津地)

まつもとみき
松本美紀さん
(本郷)



秋の日野路を歩き、紅葉を味わう

第7回金持開運ウォーキング

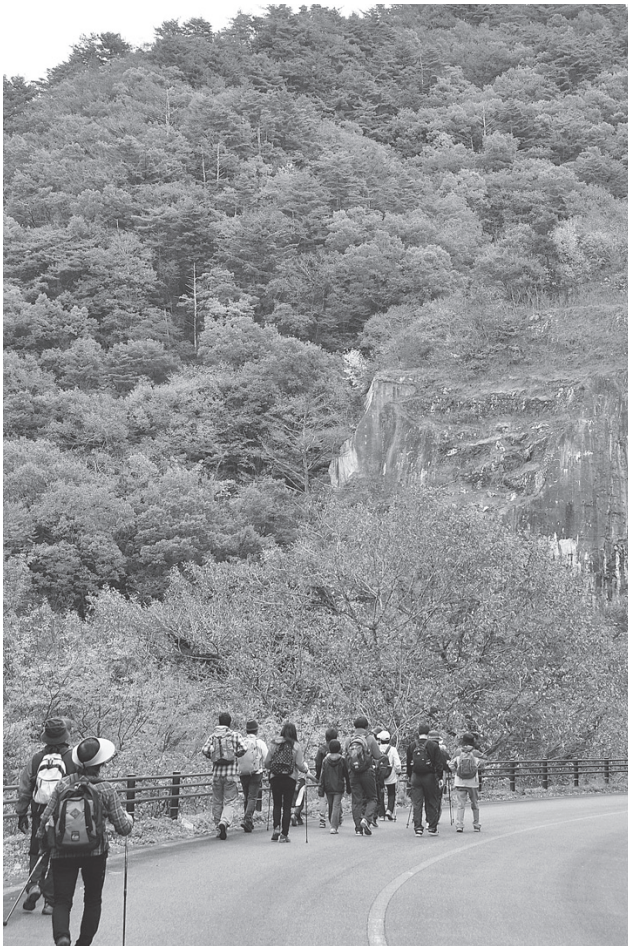
町の紅葉スポット・滝山神社（中菅）から金運・開運で人気を集める金持神社（金持）までを歩く、第7回金持開運ウォーキングが、11月8日に開かれました。

当日は、町内をはじめ、県内外から昨年を上回る190人の参加者があり、紅葉を楽しみながら開運を求めて歩く姿が見られました。

同ウォーキングは、滝山公園から金持神社までを歩く14・4キロのタフコース、小原に設けられた給水所から金持神社までを歩く8・5キロのゆうゆうコース、そして滝山公園から給水所までを歩く5・9キロの絶景コースの3つのコースに分かれています。参加者は、そ

れぞれの力量に合ったコースや存分に紅葉を楽しみたいコースなどを選び、ウォーキングを楽しんでいる様子でした。

また、ゴールとなる金持神社では、景品が当たる「開運抽選会」が行われたほか、金持神社札所（売店）近くでは、疲れた体を温める豚汁が振る舞われました。そのほか、スタート地点の滝山公園でも、天郷坂に集まる会（坪倉敏代表）の皆さんが滝山不動市を開き、シャトルバスで帰ってきた参加者を温かく出迎えていました。参加者はこれらのもてなしにウォーキングの疲れを癒された様子で笑顔を見せていました。



赤や黄色に彩られた山々に見とれて歩く姿が見られました

日野郡のそば店が勢ぞろい 第11回日野郡新そばまつり



そばの香りに誘われ多くの人でにぎわう

秋に収穫を迎えたばかりの日野郡産の新そばを味わう、第11回日野郡新そばまつりが、11月16日、日野高校黒坂校舎で開かれました。

当日は、自慢のそばを味わってもらおうと、日野郡内のそば店が手打ちのそばで来場者をもてなし、来場者は香り高い新そばに舌鼓を打っていました。

また、会場では、そば打ち体験やざるそば大食い大会、日野郡産の農産物販売が行われたほか、「旧日野農林高等学校構内『探索』散歩」や「鏡山城下歴史巡り」のイベントも同時開催され、多くの人でにぎわいました。

園児がバケツリレーで消火訓練

町消防団とひのっこ保育所園児が消火訓練



みんなで協力すれば重くない、がんばれ！

火災が発生しやすい季節を迎え、いつそうの火災予防を啓発する「秋季全国火災予防運動」が行われるのにあたり、11月11日、町消防団がひのっこ保育所を訪れ、消火訓練を行いました。

訓練では、年長児が町消防団員とバケツリレーに挑戦。ほかの園児が見守る中、1列に並び「ハイ！」「ハイ！」とかけ声を合わせバケツを手渡していききました。炎に見立てた箱に水がかかり倒れると「やっ！」「やっ！」と歓声がおこり、園児らは協力することの大切さを実感した様子でした。